

臨床研究「経皮的冠動脈ステント留置後に血管内超音波カテーテルがスタックした症例および抜去方法の検討」

について

筑波大学附属病院 循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

狭心症や心筋梗塞に対して経皮的冠動脈ステント留置術を受けた患者様において、血管内超音波カテーテルがステントに引っかかり抜去不能になることを「スタック」と言います。本研究では、血管内超音波カテーテルスタックの発生率や予後（全死亡、心血管死、緊急手術、再血行再建など）、および抜去方法について検討いたします。

② 研究対象者

2008年4月1日から2019年3月31日までに当院で経皮的冠動脈形成術を受けた患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年3月31日まで

④ 研究の方法

当院では経皮的冠動脈ステント留置術の際に、血管内超音波カテーテルをほぼ全例に使用しています。血管内超音波カテーテルスタックが発生したケースを調査し、発生危険因子を明らかにし、またスタックした血管内超音波カテーテルの抜去方法について検討いたします。

⑤ 試料・情報の項目

血液検査（LDLコレステロール、HbA1c、クレアチニンなど）、冠動脈造影所見、手技情報（ステントの種類・径・長さなど）

⑥ 試料・情報の第三者への提供について：予定はありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 循環器内科 病院講師 町野毅

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 循環器内科 家田真樹

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：循環器内科 担当 平谷太吾

電話・FAX 029-853-3143（平日9～17時まで）